

六華の教え

自立・共生・協力・挑戦・探求・創造

清水町立清水中学校

令和7年7月25日(金) No.4

校長 嘉藤 貴充



祝 全道中体連大会出場 進め、若人！

3年間で840日ある中学校の部活動。その集大成は「3年の夏」と呼ばれていますが、今年もその夏がきました。清水中から中体連の全道大会に出場するのは4種目。

7月29日(火)から知内町・木古内町で全道野球大会(3A土屋、3B泉、2B篠原、1A小澤、1B徳山)、7月29日(火)から岩見沢市で全道柔道大会(2A大城、1A大城)、7月31日(木)から小樽市で全道バドミントン大会(2A伊藤)が行われます。陸上は7月21日(月)に室蘭市にてすでに行われ、成松君、榊君が高跳びに出場しました。

職員室は全道大会出場の準備で大忙し。嬉しい悲鳴を上げています。全道に出場してもしなくても、一人一人の日常が、夏休み中も充実することを願っています。



教育長表敬訪問のようす。集合写真は広報や地元紙に載るはずですので、その撮影風景を紹介します。町役場庁議室という部屋にインタビューボードがあります。

こんなこともやっています
埼玉県深谷市中学生 清中生 御中生
学ぼう！ 渋沢栄一翁 立志と忠恕の精神

遠隔で会議を開催することが日常に定着しました。埼玉県深谷市と東京北区と清水町をつないで、中学生が17名参加し、渋沢栄一翁の精神を町づくりに生かそうという交流が行われました。ここでいう渋沢の精神とは立志と忠恕。立志とは目標を立てて進むこと。忠恕(ちゅうじょ)とは真心と思いやりという意味です。



清水中学校長室。テレビの向こうが深谷市です。生徒会長岸田くんが代表で参加しました。御影中からも遠隔で参加しています。

清水中ブログ



熊 出没・雷・不審者など

通常どおり生徒を下校させられないとき
学校からメールで連絡がいきます。メールの着信をはじめ、学校ブログもチェックいただけると連絡がスムーズになります。



家庭科ふれあい体験学習



自分一人で動画を見たり、本を読んだりして学ぶことは今や簡単なことになりましたが、学校での学びの特徴はなんと言っても、他者と共に学ぶということ。そして、更に体験が加わるということです。修学旅行や宿泊学習も強烈な学びを得ますが、しみず認定こども園での体験学習も忘れがたいものになります。7月14～15日、3学年が大変お世話になりました。晴天の下、ビショビショになったり、泥んこになったりするのはどうしてこんなに楽しいのでしょうか。そういえば、「人生で必要な知恵はみんな砂場で教わった」という人がいました。

自分一人で動画を見たり、本を読んだりして学ぶことは今や簡単なことになりましたが、学校での学びの特徴はなんと言っても、他者と共に学ぶということ。そして、更に体験が加わるということです。修学旅行や宿泊学習も強烈な学びを得



清水高校体験入学



清中生特別版

7月18日（金）3A、3Bがそれぞれ2時間ずつ清水高校に体験入学してきました。普通科とはひと味違う、総合学科ならではの設備に中学生は圧倒されていました。自動車整備の大きな機械をはじめ、



3Dプリンターなど時流にのった設備もありました。メロンパン・チャーハン・チョコバナナケーキのもてなしで中学生は、胃袋を捕らえたようです。なお、**令和9年度から予定している新しい制服について、中学生の意見も反映し、投票までできるよう準備**を進めています。

少年の主張

3B 宮武菜子さんが学校代

表として、7月5日（土）よつ葉アリーナで行われた十勝地区大会に出場してきました。主張テーマは「聴覚障害者への配慮」です（令和6年度に選出）。自身の体験を基にした立派な主張でした。十勝地区の代表にはならなかったものの、市町村を代表する中学生の主張を披露する場に臨めたことは貴重な経験になったはずです。



清中生 活躍の記録

◆サッカー部◆

全十勝中体連夏季大会

VS 芽室芽西 4-1 ○

VS 下音更 0-3 ×

◆陸上競技部◆

全道中体連（室蘭大会）

高跳び 2A 成松 予選通過できず

高跳び 3A 榊 予選通過できず

◆野球部◆

全十勝中体連夏季大会

決勝 3S 2-1 西陵・帯八 優勝
⇒全道大会出場

◆卓球部◆

7/5 全十勝夏季個人戦

3A 小林ベスト 16 3B 小澤ベスト 32

7/6 全十勝夏季団体戦

男子・女子ともに初戦敗退

◆バドミントン部◆

全十勝夏季大会

男子団体戦 2回戦敗退

女子団体戦 準優勝

男子ダブルス

3A 富田 2B 吉田 ベスト 8

女子シングルス

2A 伊藤 第4位 ⇒全道出場

女子ダブルス 3A 安藤、森井 ベスト 8

◇柔道部◇

男子団体 清水中 vs 西山道場 1回戦敗退

男子個人戦

50kg 以下級 大城進志 優勝 ⇒全道大会出場

66kg 以下級 大城海志 優勝 ⇒全道大会出場

90kg 以下級 石川蒼土 準優勝

◇剣道部◇

全十勝中体連夏季大会

2A 玉澤、2B 鶴谷、1A 脇原、1B 梶

1回戦敗退

◇◇◇今後の予定◇◇◇

8月 2日（土）帯広地区吹奏楽

コンクール

いわゆる

「3年の夏」です

8月 7日（木）北海道卓球選手権予選
ジュニア

8月11日（月）山の日

8月12日（火）学校閉庁日（～15日）

8月20日（水）小中一貫教育清水地区
教職員交流会

8月21日（木）2学期始業式

8月22日（金）生徒会役員選挙告示

8月23日（土）全十勝新人陸上競技大会
全十勝中体連秋季大会
野球

全十勝西部南部中体連

秋季大会 サッカー・卓球
（サッカーは24日も）

8月25日（月）清水町教職員研修会
給食ありの3時間授業
部活動停止（～27日）

8月28日（木）前期期末テスト

9月10日（水）3学年学力テスト総合 A

10月 4日（土）文化祭

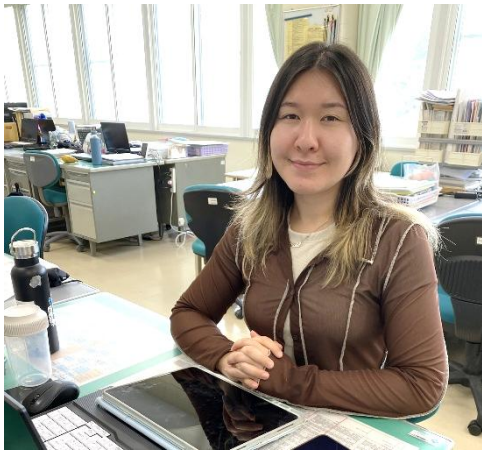
10月 8日（水）3学年学力テスト総合 B

11月 6日（木）3学年学力テスト総合 C

12月22日（月）2学期終業式



柔道の強い人に背負い投げされても痛くありません。あの感動をみなさんに味わってもらいたい。



Although it's a phrase we hear and say all the time, "thank you," perfectly encapsulates my feelings for the last two years. Moving to a different country is both exhilarating and intimidating. Yes, I was thrilled to finally accomplish my lifelong dream of coming to Japan. I even tailored my university path to ensure I'd be accepted into the JET Program—the program that gave me the opportunity to come to Japan. But I was also terrified. I was moving to a country with a completely different culture from my own, a country with a language I could barely comprehend, and a country where I knew absolutely no one.

清水町で2年 スティファニー帰国

Little did I know, those fears were for nothing. Thanks to everyone I've

met here—the teachers, the students, the friends I made along the way—Japan became the best decision I've ever made.

The kindness and compassion I received were beyond my imagination. I will always look back fondly on the memories and experiences I've had here.

Thank you for your help.

Thank you for your understanding.

Thank you for making my stay in Japan unforgettable.

I appreciate every single one of you.

Thank you for everything!

Thank you!

「ありがとう」という言葉は、日常的に何度も聞いたり言ったりするものですが、私のこの2年間の気持ちを最もよく表しているのは、まさにこの言葉です。

異国に引っ越すことは、ワクワクする反面、不安も大きいものです。

日本に来るという長年の夢をついに叶えられたとき、私は本当に嬉しかったです。私は大学の進路さえも、日本に来るチャンスを得られるようにJETプログラムに合格することを目指して選びました。

でも正直、すごく怖くもありました。自分の文化とは全く違う文化、ほとんど理解できない言語、そして誰一人知り合いがいない国へ行くということだったからです。

でも、そんな不安は全くの杞憂でした。

ここで出会ったすべての人たち——先生方、生徒たち、そして道中で出会った友人たち——のおかげで、日本に来たことは人生で最高の決断になりました。

ここで受けた優しさと思いやりは、想像を超えるものでした。

ここでの思い出や経験は、これからもずっと大切な宝物です。

助けてくれてありがとう。

理解してくれてありがとう。

日本での滞在を忘れられないものにしてくれて、本当にありがとう。

出会ったすべての皆さんに心から感謝しています。

すべてにありがとう。

ありがとう!

←日本語と英語

どちらもスティファニー
本人が書いたものです。

AIによる翻訳ではありません。英語のメッセージにも挑戦してみてください。

編集後記

野球部3Sの応援でこの夏が始まりました。野球場に足を運ぶ目的は中学生の応援のため。実は保護者の生歌応援を聴くためでもありません。どれほど元気をもらったことか。全道大会7月30日は道南の知内町。今季を生歌応援で貰った保護者の方にお礼を伝えたいと思っています。

◆ しみず認定こども園でのふれあい実習。砂場と水あそび。この記事を書いていてふと考えたこと。日高の山は登山道があまり整備されておらず、場合によっては沢づたいに頂上を目指します。沢といっても、滝と川の中間のようなもので、全身ずぶ濡れになって登ります。これは完全に大人の本気の遊びです。◆ピシヨピシヨになったり、泥んこになったりするのは心身の健康にはとてもよいと確信しています。

◆ ステファニーの帰国。これまで何年もALIT（外国語指導助手）と接してきましたが、ろくに親切もできずにいました。今回、ようやくわずかながら、サポートすることができました。一人で異国の生活を乗り越えてきたステファニー。後任のALITのために、車の修理、車検、保険、名義変更などを手伝いました。少しばかり、自分のカルマが軽くなった気がします。